

## 問 県立山田高等学校の支援は

## 答 今後も継続した支援を実施



議員 信 慶 木 々 佐  
（令和新风会）

**問** 山田中3年の生徒数は令和6年105人そして10年後82人となる見込みである。生徒減少が進む中、地域がどのように地元の高校と関わりを持つかが問われている。葛巻高では「山村留学」、沼宮内高「地域みらい留学」、大槌高「はま留学」などがある。これからも山田高校を存続させていくためには町としても強力な支援策を打ち出していかなければならないと考える。

山田高校は、ポータ部のインターハイ出場や、海の運動会そして山田町について深く学ぶふるさと探究活動等いろいろなこと意欲



山田高校存続のため力を合わせましょう！

的に取り組んでいる活気ある学校で、地域の誇りである。ぜひとも地元には必要な学校と考える。そこで、町のこれまでの支援と今後

の支援計画を伺う。  
**佐藤町長** 町では、高校生議会に向けたワークショップの実施や、町広報紙で山田高校を取り巻く現状と課題、

生徒の活躍する姿などを伝えていくほか、令和4年度からは「山田高校魅力向上応援補助金」を交付するなど、様々な取組を行ってきた。また、本年度の県に対する市町村要望において、本町唯一の県立学校である山田高校の存続について要望を行っている。今後も課外活動等へ協力するとともに、引き続き高校側や関係機関と連携しながら、入学者の確保につながる取組に支援していきたいと考えている。

**問** 山田高校への進学者、受検者が減っている状況がもうそこまできてきているというところで、「地域みらい留学」制度を県内他市町村では9校が導入している。他市町村の取組を

どのように捉えているか。  
**佐藤政策企画課長** 町内の小中学生の人数が減少傾向にある現実を踏まえると、町外からの受入れも重要な方策の一つと考える。これは、高校側の意向や留學生の受入先、サポート体制などの課題も想定される点を踏まえながら検討する必要があると捉えている。他市町村の取組事例の情報収集を行い、効果を検証、分析しながら、高校側と協議していきたい。

**要望** 長年にわたり地域を支えてくれた山田高校を、今度は地域が支える番である。急を要する案件であるので、存続に向け町を挙げていち早く取り組んでいただきたい。

### その他の質問

- ◆ 山田中学校部活動の地域移行を進めよ
- ◆ 山田中学校部活動数の見直しは
- ◆ 町の不登校対策は
- ◆ 教育予算を拡充せよ